

## 南南協力と三角協力の可能性

ーアフリカにおける強靱な社会の構築に向けた相互学習・共同発見、そして実行へー

2013年6月1日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにおいて、JICAは南南協力／三角協力をテーマにTICAD V公式セミナーを開催しました。アフリカより、モロッコのエル・オトマニ外務大臣、エチオピアのマコネン工業大臣、UEMOA（西アフリカ経済通貨同盟）のダビレ理事、アジアより、タイ外務省のクンウィブーン副次官、マレーシア外務省のアズハル副局長、インドネシア国家開発企画庁のルキ



ト シニア・ポリシー・アドバイザーを招き、各国代表団、一般参加者など約140名が参加しました。JICA 渡邊正人理事が冒頭挨拶にてアジアとアフリカ諸国間の知見共有、南南・三角協力の意義を説明した後、ジョウ国際連合南南協力事務所長の進行のもと、(1)アフリカ諸国が持続可能な成長を実現する上での課題、(2)そのような課題解決に有益な途上国が有する開発経験や知識、(3)南南協力と三角協力がアフリカの人々の福利向上でより効果を上げるための要件について、パネリストおよび参加者との間で活発な意見交換が行われました。

アフリカが直面する課題として、経済・産業の多様化による天然資源など一次産品への依存度の軽減、洪水など気候変動による影響の軽減、教育や保健・衛生など人材開発への投資、民間セクターを巻き込んだインフラ整備について、パネリストは繰り返しその重要性を指摘しました。

アフリカ諸国が参考とし得る開発経験として、クンウィブーン副次官はタイの天然資源の効率的な使用、防災に配慮した都市開発、農業、水産業分野での経験を挙げ、ルキト シニア・ポリシー・アドバイザーはインドネシアが貧困削減、気候変動対策、インフラ整備、グッドガバナンス、平和構築、マイクロファイナンスに関する知見を有することを紹介しました。エル・オトマニ大臣は仏語圏アフリカ諸国を対象とする母子保健、水資源管理、金融および職業訓練分野でのモロッコの南南協力を、マコネン大臣はJICAの協力のもとエチオピアがマレーシア、タイ、インドネシアなどと実施している輸出戦略や投資促進に関する政策対話の例を紹介しました。

本セミナーを通じて、アフリカ諸国が成長の歩みを進めるためには、経済面、社会面の取り組みを包括的に行うとともに、開発努力を無に帰すような外的ショックに備えることが重要であるとの共通理解が得られました。さらに、南南協力と三角協力の実施に際して、受益国が自らの課題と必要な解決策を正しく認識し、自らの状況に応じて他国の経験を最適化すること、達成度の客観的評価を前提とする、成果重視の取り組みが重要であるとの理解を共有しました。今回の議論の結果は、ポスト2015や「開発成果向上に関するグローバルパートナーシップ」に関する議論に対しても有益な示唆を与えると理解されます。

## 【第5回アフリカ開発会議サイドイベント】

### ■本イベントの登壇者

#### 【パネリスト】

- ・ サアッディン・エル・オトマニ モロッコ外務協力大臣
- ・ マコネン・マンヤゾワル エチオピア工業大臣
- ・ クリストフ・ダビレ 西アフリカ経済通貨同盟（UEMOA）理事
- ・ ノッパドン・クンウィブーン タイ外務省副次官
- ・ モハマド・アズハル・マズラン マレーシア外務省政策戦略企画局副局長
- ・ ペニー・ルキト インドネシア国家開発企画庁シニア・ポリシー・アドバイザー

#### 【議長】

- ・ 渡邊正人 JICA 理事

#### 【モデレーター】

- ・ イーピン・ジョウ 国際連合南南協力事務所長